

碩

心

題字は松井岳洋

No. 410
平成 23 年 11 月

発行
財団法人日本詩吟学院岳風会 認可
碩心会
発行者 内山岳青
編集者 伊藤岳光

神奈川県藤沢市辻堂東海岸 1-7-28
Tel/Fax. 0466-33-2228

URL <http://sekishin.holy.jp>

アクセントは難しい

審査業務部長 小野 岳 祥

野田首相が「私はドジョウであつて……」

と云つたのを聞いて私は土壌と勘違いしました。「泥鰌であつて金魚ではない」と云つた

そうです。どちらでも

住みよく平穏な日本で

あれば良いことですが、

土壌と泥鰌、アクセン

ト違いますか？

近頃、詩吟のなかで

もアクセントのことを各先生からよく注意を

受けます。日本語は美しいけれど、とても難

しく、その上吟では高音・中音・低音など

様々な節調があります。箸・橋・端、みんな

ハシですけれどアクセントが違う。先日夏の

季吟道講座の折に、先生が「母を憶う」を指

導して下さい、三ヶ所ある「吹いて」のアク

セントに注意する様にこのことでしたが、勿

論「拭いて」になつては困りますが、節が

くので難しいです。

私が始めた頃は、アクセントについて厳し

く言われた覚えがありません。時代と共に詩

吟も変つて来るところがあるのでは？

先生のお話ですと「木村岳風先生の時代に

はアクセントについての指導はなされなかつ

たと思う」とのことでした。

でも、万人にわかりやすく、理解できる吟に

するには、アクセントを正しく吟じなければ

なりません。今の若い人達は、美しい日本語

にほど遠い言葉を略し、アクセントも独特な

使い方をしている人が多い様です。

郷に入れば郷に従え”の言葉通り、いつの

間にか、様々な交わりの中、アクセントも不

正確になつてきている私ですが、美しい日本

語を、正しいアクセントで使いたいものです。

審査業務部長は、強力な二人の副部長と皆様

方の御協力で業務は順調ですが、毎回受審者

の方々の真摯な姿を拝見し、感動です。

これからも勉強の成果を充分に発揮して受

審して下さい！

行事予定

第4回相州岳風連合吟詠大会

日時 11月27日(日) 開場午前9時

場所 葉山町福祉文化会館ホール

碩心会初吟会

日時 1月22日(日) 開場午前9時30分

場所 葉山町福祉文化会館

昇伝段位認許

(平成23年10月1日付)

去る9月24日、葉山町福祉文化会館に於て
行われた秋季審査結果です。

おめでとうございます。

少年 2名

202 松浦みづき 少初段 222 吉田朋之 進少十級

初段 7名

209 泉谷鐵雄 215 馬場香澄 217 高橋百合子

218 吉田志穂 219 加藤 勇 221 田嶋正子

224 笠川 襄

二段 7名

207 山中郁子 208 有田暢雄 211 松井夏子

212 吉田信次 213 笈川貴子 214 白石政子

216 常盤正人

初伝 2名

198 高山和泉 199 井戸田喜泉

3段 5名	183 知念義泉	190 野村耀泉	191 畠山竹泉
	192 小川美泉	194 占敷谷江泉	
4段 4名	184 堀川弘泉	186 中山辰泉	187 村上遥泉
	188 岩崎健泉		
中伝 5名	175 森 祐山	176 森 晶山	177 照沼夏山
	178 山下友山	179 高橋禮山	
5段 8名	165 有島光山	166 土屋櫻山	
	167 梅田萌山	168 今原幸山	
	169 新田香山	170 畠中潤山	
	171 栗原俊山	172 矢嶋敏山	
6段 4名	159 柳原伶山	160 佐々木絵山	
	161 植草眞山	162 二戸清山	
奥伝 3名	144 田邊隨風	145 乗松力風	
	146 渡辺恵風		
7段 4名	132 野口一風	133 野口聖風	
	134 藤節風	135 高橋陽風	
8段 2名	123 由谷悦風	124 島 光風	

“みんな”で増やそう新会員

平成23年度秋季審査会に参加して

東伏見支部 田邊 隨風

9月24日、大型台風一過の秋晴れのこの日、秋季審査会が開催された。冒頭の会長挨拶で「来年5月碩心会設立75周年記念を迎える時、初段7名、2段7名の参加は将来発展に心強い」とのご発言があった。緊張した空気の中、午前の部、少年少女より6段迄、42名、午後の部、奥伝より準師範迄、15名、各自日頃の修練の成果を発表すべく力の限りの吟詠が行われた。三人の先生方の講評は、午前の部には発声時の口の形の大切さ、音程をしつかり決めて出す。素読を繰り返すことで緩急、メリハリが分かってくる等の注意。午後の部には詩の背景の研究不足、近代詩、俳句の勉強不足、永遠のテーマ二句三息等、厳格的確なるご指摘を頂いた。今回の圧巻は都合で午後になった松浦みづきちゃんの堂々たる吟詠であった。「碩心会の星、既に高段の実力者」と評され、将来代表として全国区で大輪の花を咲かせるプチ・プリンセスに期待したい。三人の審査の先生方、各部署を担当された役員の皆様ご苦労様でした。

最後に、奥伝に挑戦した自分は会長講評の全ての指摘が鋭く胸に突き刺さり、「我泣きぬれて、苦酒をぐい呑みして不貞寝す」

鎌倉吟舞連秋季発表大会

10月30日(日)鎌倉市詩吟舞連盟秋季発表会がレイ・ウエル鎌倉で開催されました。

今回初めての試みとして画道吟を「日本讀歌」の吟のもと、フランスのルーブル美術館に絵画が展示されている村田佳代子先生の描画が始まりました。北海道の阿寒湖・九州の阿蘇山・中央に富士山と桜が描かれ簡潔な中に素晴らしい日本が描かれ感動しました。

また、伴吟で吟者が詩文を携帯せずに吟じたため途中絶句する場面がありました。幸い会場の吟で舞は継続されましたが詩文携行の必要性を痛感した次第です。 高見

デイサービスセンター慰問

秋深まる晴天のもと10月14日(金)午後、内山会長、磯村、高橋副会長以下16名が久木デイサービスセンターを慰問しました。戦後の荒廃した日本の復興に携わった皆様に感謝する旨の挨拶の後、詩吟詩舞が披露されました。後半、「不識庵機山を撃つの図に題す」を内山会長のユーモアを交えた説明と指導で練習・合吟し、新年会はこれをやろうとの声も出る程の盛況でした。

最後に「ふるさと」等の唱歌を全員で合唱し、有難うの声を後に終了しました。高見

神静地区吟道講座に参加して

経理部長 有友嘉 岳

去る10月23日(土)小田原市民会館において地区吟道講座が開講された。当日は雨天模様にもかかわらず約600名の熱心な参加者で会場一階は埋め尽くされ、わが傾心会からも11名が参加した。

講座は開講式に続き四講に分けて行われ、第一講は漢詩(五言絶句・樂家瀬)を加藤岳光先生、第二講は和歌(ききもせず)を神戸岳栄先生、第三講は漢詩(津詩・赤壁)を大山岳荘先生、第四講も漢詩(排津・吉田義卿を送る)を片島岳穂先生が担当された。各先生方からは担当の漢詩和歌に関する歴史的背景と作者についての入念な説明に加え、長い吟歴とご研究に裏付けされた吟法を分かり易く伝授頂いた。いずれの先生方も一様に「思いを込めた十分な素読」「言葉を大事にした発声」「間の取り方」の大切さを強調され、また感情表現には「腹圧をかけて吟ずる」など大変参考になりました。

私は今回初めて地区講座に出席したが、今までの詩吟への取り組み姿勢の甘さと勉強不足を痛感させられた。未受講の方は今後は是非とも参加されることをお勧めします。

新総伝祝賀会

副会長(兼)青少年部長 高橋 岳之

9月11日、傾心会新総伝を祝う会のお招きをいただきました。その日は朝早くから眼がさめ、テレビをつけて見ると、10年前の9月11日ニューヨークでのテロがあった日で奇しくも日本では3月11日の東日本大震災から6ヶ月目。11日という日が三つも重つてくるとお祝いして頂いた日を一生忘れる事が出来ない日となりました。大先輩方の心温まる叱咤激励の色紙と総伝の許証を並べて30年の吟歴を振り返りながら我が師、村田岳澗先生に追いつけ追い越せの思いで頑張つてゆきます。

紫陽花支部 池田 岳清

故矢嶋岳悦先生に詩舞へのお誘いを頂いたことをきっかけに、矢嶋先生のお宅で中村京愛先生に詩舞を教えて頂き、詩吟は矢嶋岳悦先生に教えて頂きました。あれから31年になります。詩吟の勉強をしている時には辛さを感じたこともありましたが、5年前から杉山岳雪先生に教えて頂きここまで詩吟に励み、此度素晴らしい総伝の許証を頂いたのは先生方の支え及び今の紫陽花の教室があったからです。これまでの経験を糧とし、これからも精進して参りたいと思います。

平松支部 村上 岳 雍

この度総伝を認許され、祝う会では寄せ書き(色紙)を頂き感激いたしました。私は町役場のホームヘルパー5人と詩吟をはじめ週一度吟じる事が心身のリフレッシュに役立ちました。私はヘルパーを退いたあととはデイサービスのボランティアをしています。そこでリハビリを兼ねてみんなで大きな声で詩吟を吟じる様になり、いつの間にか10年の時が経っています。利用者の中には昔、詩吟を習っていた人もいて漢詩に詳しくて詩吟の奥深さを学ぶ事が出来来ます。皆さんが元気で吟じる喜びは、何事にも代え難い私の宝物です。



平成23年 傾心会 新総伝者を祝う会 H23. 9. 11 於 ココット

支部紹介

慈にして嚴、これ即ち指導

滝の坂逗子教場 鈴 木 康 山

同じ個所を何度もやり直させる。その内に喉が引きつってくる。腹部もかなり硬直してくる。だがある程度までくると「む、そこだ。これでいい」と励ましというか褒めの言葉が返ってくる。そのタイミングが実にいい。当に慈にして嚴の真髓。次へのステップを上手に引き出す師匠。師匠は私にとつては同僚でもあり、呑み仲間。そんな訳で詩吟には、かなり前から関心があつたが滝の坂では遠いし、蒲田では更に遠い。はてどうしたものかという流れの中で誕生した道場。最初は大船の吟友（故人）別宅を借りてスタート。今は逗子コミュニティーセンターに教場を移し詩吟道に邁進している。会員は7名。吟終われば会場を変え、飲み語るのも何時の間にか習慣に。



第122回全国吟道大会

去る11月6日(日)、日本詩吟学院岳風会創立75周年記念の標記大会が明治神宮会館に於いて二千人の会員が各地より集結し開催され、頑心会からは8名が合吟その他で参加しました。

午前の部の圧巻は構成吟「鼓動」(世界への旅立ち)として馬籠黎明太鼓保存会の方々による太鼓演奏をバックに、近代日本への新しい国作りに奔走した英傑たちの作品が朗詠と剣舞により披露され、最後に祖宗範木村岳風先生遺詠CDによる「廣瀬中佐」が剣舞と共に紹介され、気魄に満ちた感動的な岳風先生の朗詠にたゞたゞ感激の瞬間でした。

午後は式典より開始され、北海道から沖縄そしてブラジルより参加があり129本の会旗が次々に登壇する様は本当に素晴らしく見事でした。大会会長挨拶で木部岳圭理事長より11月1日をもって内閣総理大臣より公益社団法人として認定を受けたとの報告に会場より拍手が沸き上りました。今後は原点に立ち戻つて考え、吟道を公益として、この道を社会に広げて行きたいと思いました。

伊藤

会員のうごき

*入会 (10月1日付)

231 山口歙三 (渚)
逗子市新宿3-4-40
☎ 046-873-5908 紹介者 有友嘉岳

232 長谷川嘉宏 (滝の坂)
横須賀市芦名1-6-13-B
☎ 046-858-2653 紹介者 行谷隆岳
(レッツ詩吟)

233 郷原美貴子
葉山町堀内859-1 レストダイチ葉山408号
☎ 090-1204-8910 紹介者 上村岳章

*入会 (11月1日付)

234 永田穂積
葉山町長柄1460-45
☎ 046-876-1875 紹介者 加藤 勇

*退会

24 加藤岳芳 (吟秀) 90 富永延岳 (真澄)
100 八神嘉岳 (真澄) 157 寺村妙山 (長柄)
206 石川スミエ (東伏見)

編集後記

頑心会創立75周年記念吟詠大会が来年5月27日(日)、鎌倉芸術館小ホールに於て開催されます。

プログラムの内容も決定し、それに向けて着々と準備が進められています。各々自分の役割を認識し立派な悔いのない大会になるよう頑張りましょう。

広報部

23年11月1日現在	会 員 数
葉 山 地 区	1 1 7 名
逗 子 ・ 大 船 地 区	9 6 名
合 計	2 1 3 名

お詫び：冠称授与

宗佑 白井岳照を白井岳照に訂正いたします。